

□1 次の新聞記事を読んで、後の問いに答えなさい。（上段の数字は行数を示しています。）

1	「目には青葉 山ホトトギス 初ガツオ」。江戸時代に山口素堂（やまぐちそどう）が作った俳句です。この俳句は、季語 <sup>②</sup> が三つあるとか、六・七・五だから字あまりだとピナン <sup>A</sup> されることもありですが、同時に高いビヨウカも <sup>B</sup> てています。江戸の人たちの初夏の楽しみだったことを、リズミカルにとても上手 <sup>④</sup> に表現しているからです。この俳句は、当時 <sup>⑤</sup> から有名だったようで、これにゴせておもしろく言いかえた川柳（せんりゅう）が作られています。「聞いたかと 問えば食ったか と答へ」。この夏にホトトギスの声を聞いたかとたずねられたので、初ガツオを食べたかと答えたのです。また、こんな川柳も作られています。「目も耳も ただだが口は 高くつき」。青葉やホトトギスの声は、ただで見たり聞いたりすることができませんが、江戸時代のカツオはたいへんコウカなものでした。ゲンザイ <sup>F</sup> のお金にすると、一ぴき十八万円もしたという説もあります。庶民には、なかなか食べるのできないギチヨウ <sup>F</sup> なお魚だったのです。「初ガツオ 銭 <sup>G</sup> どからしで 二下なみだ」。銭はお金のことです。高い初ガツオをなみだが出るような思いで買って、からしをつけて食べたなら、コンド <sup>G</sup> はそのからしからしさでなみだが出たようです。それほどまでに江戸の人は、初ガツオを食べることにこだわっていたのです。
5	
10	

2022.2.3 毎日小学生新聞より 一部省略

問一 線部①～⑦の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

問二 線部A～Gのカタカナを漢字に直しなさい。

☆（問三～問五の⑧～⑩は解答さんの番号です。）

問三 1行目⑧「青葉」、2行目⑨「初夏」、3行目⑩「表現」の熟語の成り立ちを次のア～エの中から選んで、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 反対になる意味の字を組み合わせたもの。  
 イ 同じような意味の字を組み合わせたもの。  
 ウ 上の字が下の字の意味を説明（修飾<sup>ホウシキ</sup>）しているもの。  
 エ 下の字から上の字へ返って読むと意味がよくわかるもの。

問四 4行目⑪「聞」、8行目⑫「買」の音読みと部首名をそれぞれひらがなで答えなさい。

問五 2行目⑬「字あまり」の意味として最も適当なものを次のア～エの中から選んで、記号で答えなさい。

- ア たとえる表現が多いこと。 イ 句切れが二つより多いこと。  
 ウ 季節を表す言葉が多いこと。 エ 基本の文字数より字数が多いこと。

□2 次の会話は、A先生とBさんとの会話です。後の問いに答えなさい。

- Bさん A先生、アメリカのバイデン大統領が、ナガサキ<sup>①</sup>を訪問するかも知れないとニュースで聞きました。  
 A先生 今年の五月に開催される「G7ピロシマサミット」で来日するのにあわせて、という話です。  
 Bさん G7の首脳が、ピロシマで会議をするんですね。  
 A先生 そうです、日本が議長国の今回は、核兵器廃絶<sup>②</sup>の実現に向け、力強いメッセージを発信したいと考えているようですよ。  
 Bさん ピロシマには、小学校の修学旅行で訪れました。平和公園で見た被爆樹木<sup>③</sup>が印象に残っています。  
 A先生 私也被爆樹木を見に行ったことがありますよ。Bさんはどうして被爆樹木が印象に残ったのですか。

Bさん 被爆樹木を見ていると、破壊されても再生することはきっとできる、と感じることができたからです。  
A先生 なるほど、素敵な考えですね。

問一 ——線部①「ナガサキ」、④「ヒロシマ」をそれぞれ漢字で答えなさい。

問二 ——線部②「訪」、③「月」の漢字の成り立ちを次のア～エの中から選んで、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 表しにくいことがらを、点や線を使って示した文字。（指事文字）  
イ ものの形を簡単な絵で表した文字。（象形文字）  
ウ 二つの文字を組み合わせて、一方が意味を、一方が音を表した文字。（形声文字）  
エ いくつかの文字を組み合わせて、新しい意味を表した文字。（会意文字）

問三 ——線部⑤「強」の総画数を答えなさい。（算用数字でも漢数字でも構いません。）

問四 ——線部⑥「木」について次の問いに答えなさい。

- A 本文中の「木」と同じ読み方を使っている二字熟語を次のア～エの中から選んで、記号で答えなさい。  
ア 流木 イ 横木 ウ 土木 エ 木馬  
B 本文中の「木」と違う読み方を使っている二字熟語を次のア～エの中から選んで、記号で答えなさい。  
ア 木質 イ 材木 ウ 原木 エ 木目

問五 本文中に、漢字を誤って使っているところが一か所あります。誤って使っている漢字を一字選んで、正しい漢字に直しなさい。

③ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

日本は今「大地変動の時代」まったただ中

さて、**大地変動の時代**に私たちの居場所は具体的にどうなったのでしょつか。

二〇一一年三月十一日、東北地方の三陸沖の太平洋の海底を震源とするマグニチュード9の巨大地震（東北地方太平洋沖地震）が発生し、これによって地盤が東西に五メートルほど引き延ばされました。同時に起きた巨大な津波によって二万人近い方が犠牲となり、「東日本大震災」と名づけられています。

その後、日本列島では地震や火山のふん火がひっきりなしに起きています。すなわち、地下の状態が非常に不安定になったままで継続しています。その結果、これが元に戻っていく過程で、日本で起こる地震や火山のふん火が増えているのです。

これだけ聞くとちよつと恐ろしくなりますが、大丈夫です。日本はこれまでに幾度となく大地震に見舞われ、そのたびに復興してきました。これは西洋にはあまりないことで、日本人は揺れる大地の上で上手に生きる術を知っているのです。】ア】

そして火山の研究も日本は非常に進んでいて、地下のマグマが動く時に起きる地震や地殻変動を観測することで、かなりの程度、ふん火の予知ができるのです。

すなわち、科学の力で予知できれば、前もって避難できますし、被害に遭わなくて済むのです。自然災害の多い国ゆえに発達した「知恵」により、私たちは災害を未然に防いだり、大幅に減らしたりできるのです。

社会科の地理でも習ったように、日本は石油や石炭などのエネルギー資源もなく、地震が多くて、火山がふん火して、台風も来る。居場所としてはかなり不利な条件です。でも、その中で何を拠り所にして生きてきたかという点、それは「人材」なのです。

国土には何もなくても、人が学んで知識をつけ賢くなることで、悪条件をはねのけて発展してきた国です。土地が狭く、地震が多く、地下資源がないゆえに発展できたというのは、地学を学がおもしろい視点となるのではないでしょつか。【イ】

A I時代に、何を勉強するか

自分は何を知らないのかを知る、そして過去の定説や常識とされていることをまず疑って、自分なりに思考を深めていく。そのきっかけ

を与えてくれるのが勉強であり、そうした探究の技術を大切にすることで、この先の不確実な時代にも対応する力をつけていくことができるのである。

近年、「コンピュータの発達で社会は大きく変わりつつあります。とくに進化の著しいのが「AI（人工知能）」です。近い将来、人間が行う多くの仕事をAIが担うようになると言われています。実際、さまざまな分野ですでにAIは使われ始めています。この本の中で繰り返し述べてきた「人類の遺産」の最先端のものとしてAIがあり、私たちはすでに、AIが当たり前にある暮らしを日々生きています。

人間にはできて、AIにはできないことは何か。それを見つけていく際のヒントも勉強にあります。II、人工知能にできることはさつさと人工知能に渡して、その人工知能を動かすための頭脳を勉強で鍛えていく。それがAI時代に暮らす賢い生き方になっていくことでしょう。I、U、I

たとえば人の心を動かす、感情を揺さぶるといったことはAIには不可能です。カウンセラーのように人の心と向き合い、気づきをもたらす職業は人にしかできません。

宗教が果たす役割のようなこともAIにはできません。聖書や『歎異抄』などの宗教の古典（これらも、「人類の遺産」の一つです）を読むことで感動し、人生を変えた人はたくさんいますが、宗教や哲学書が果たしてきた役割は、テクノロジーがどんなに発達しても変わらないものです。

たしかにAIはパターン化した情報操作は得意です。III 人生はパターン化できない偶然に満ちています。同様に地球も、パターン化できない「想定外」にあふれています。この中で求められるのは臨機応変に対応する力であり、そうした力を発揮できるアウトプット力なのです。「E、I」

さまざまな想定外の事態に臨機応変に対応していく力を養う最も簡単な方法は、活きた勉強にあると私は思います。書籍は知の集積であり、知的財産そのものです。

IV、古代の哲学者ソクラテス（紀元前四七〇年ころ～紀元前三九九年）や近代科学の創始者デカルト（一五九六～一六五〇）たちは、はるか昔に人間の知性の本質を喝破しました。これも本を読むことで簡単に知ることができます。

このように、本を通じて新しいことを「学び」、自分を変えていくことができます。その際、勉強を通して新たな知恵を蓄積していく、それが多ければ多いほど、またそれを使いこなせる人ほど、来るAI全盛時代も乗り切っていけることでしょう。

☆問題作成の都合上、本文を一部変更しています。（鎌田浩毅「100年無敵の勉強法」より）

（注※）

※ 歎異抄：鎌倉時代に書かれた仏教書。

※ 喝破：物事の本質を見ぬいてはつきり言うこと。

問一 I、IVに入る言葉として最も適当なものを次のア～カの中から選んで、それぞれ記号で答えなさい。

ア なぜなら イ たとえば ウ しかし エ そして オ あるいは カ だから

問二 線部A「臨機応変」と同じ意味の四字熟語として最も適当なものを次のア～エの中から選んで、記号で答えなさい。

ア 獅子奮迅 イ 当意即妙 ウ 千変万化 エ 無我夢中

問三 この文章には次の文がぬけています。I、A、U、Eのどこに入れるのが最も適当ですか。記号で答えなさい。

まさに「百年無敵」の勉強で身につけてほしい能力です。

問四 線部①「大地変動の時代」について説明した次の文の1、2に本文中からぬき出した言葉を指定された字数でそれぞれ答えなさい。

東日本大震災の影響で地盤が大きく引き延ばされ、地下が1（十字）状態が続き、元に戻ろうとする中で2（九字）が多く起きているような時代。



「かんべきだ。」

更衣室でプチプチシートをはり終えたふたりは、感動の声をあげた。

「どう？ うまくいった？」

「うん。どうもありがとう。お姉さん。」

お姉さんは満足そうにうなずいた。

「今日はどこまで行くの？」

「琵琶湖大橋。昨日そこをスタートして、今日がゴール。」

「そう。がんばってね。きつとだいたいじょうぶ。」

ありがとうに言いました！

ふたりで頭を下げて、みんなが待っている駅舎の下へと急いだ。

駅舎から出てくるふたりの顔を見て、遠藤コーチはうまくいったとわかったようだ。それからすぐに出発した。

斗馬はおそろおそろペダルをこぎはじめたが、すぐにふつうに走れることがわかった。プチプチシートがおしりを守ってくれて、ずいぶん痛みをやらわけてくれる。

（お姉さん、ほんとにありがとう。）と、斗馬は心でもういちとお礼を言った。

J R 永原駅から湖岸までおよそ一キロメートルである。大浦の集落をぬけると、ふたたび湖に出た。ここからが、ピワイチコースで最も景色が美しいといわれる海津大崎の湖岸である。

道路に沿って桜並木がずっとつづく。花が満開のころには、たくさん見物客がやってくるという。今はもう葉桜だが、連休中なので車も多い。自転車の数も多かった。どうしてもスピードが A。けれどそのぶん、景色を楽しむことができた。

「ピワイチやってる人って、こんなに多いんだね。」

斗馬は前を走る一太に言った。

「よその県からもたくさんきてるからね。一年間で、何万人もピワイチやってるらしいよ。」  
へえ、そなんだ、とみんなもおどろいていた。

岸にはあちこちに奇岩があり、まるで海のように波が打ち寄せていた。

短いトンネルをいくつかぬけると、さらに視界が広がった。琵琶湖は青く、水も澄んでいた。

岩に寄せる波は小さいが、気持ちのいい音を奏でていた。ここが海津大崎の突端であった。

（中略）

弁当をばくつきながら、琵琶湖の景色を楽しんだ。

正面やや左に、丸いまんじゅうのような島が見えていた。賤ヶ岳トンネルの岬からも見えていた島だ。

「あれは竹生島だね。」と彌音が言った。

「一太がうなずいた。」

「うみのこで行ったよ。」

「わたしも、うみのこで行った。」とすずなもうなずいた。

うみのこ。滋賀県の小学生なら、ほぼ全員「うみのこ」に参加する。もちろん斗馬も経験済みだ。

うみのこは、漢字で書くと『湖の子』。びわ湖フローティングスクール」というのがあり、小学五年生になると参加する。学習船「うみのこ」に乗り、一泊二日で琵琶湖をめぐるいろいろなことを学ぶ。

琵琶湖の水質をじっさいに調べたり、琵琶湖に生息する魚や鳥について学んだり、あるいは琵琶湖の恩恵を受けて暮らす人々の生活や文化について考えたりする。みんなでゲームもするし、よその小学生と交流会もする。他府県からの参加もあるので、そこで仲良しになることもあった。

学習船「うみのこ」は、小学生が二〇〇名以上も乗れる大きな船である。ベットやイスも小学生用サイズなので使いやすい。船長をはじめとして乗組員たちもぼつちり制服を決めてかっこいい。滋賀県の小学生たちにとっては、一生の思い出になる航海なのだ。

斗馬と一太の緑山小学校は、ちょうど一年くらい前になる。とちゅうでたしかに竹生島に寄ったが、斗馬はあまりおぼえていない。

「一太がひとりごとのように言った。」

「竹生島は神の住む島といわれ、縄文時代から祭りがおこなわれていたらしいね。このあたりは琵琶湖でもいちばん水深があるところだ。一〇メートルほどの深さがあるんだ。近くには湖底遺跡もある謎の島だよ。世界的にも、こんな深い水中に遺跡があるというのは例が

ない。いろんな神話や伝説も残っているよ。」

それほど超有名な島なのだが、斗馬の記憶にはほとんどない。島の石段を上り、寺があったような気がする。それにしても、ウィナーを食べながらながめる竹生島は、こんもりと茂ってきれいだ。

「うげぞうけけま。」

「さて、そろそろ出発するか。コールはまだまだ先だ。」

「残り五〇キロほどです。」と一太が言った。

（中略）

「この季節はそれほど暑くないから、**油断**しちゃうよね。初夏のころがそういう意味では危険なんだ。まあ、大事がなければいいけどね。」

そんなことを言い合いながら、それぞれのピワイチ隊はまだ出発していった。

「わあ、白鬚神社だ。」

すずなが言った。

湖岸沿いの道のむこうに、神社の鳥居が見えた。湖の中に立つ鳥居として有名だ。

一太は「うみのこ」で聞いた白鬚神社について説明した。

「神社のほうは、猿田彦命<sup>サマノヘノミコト</sup>って神様が祭られているんだ。道にまよわないように導いてくれたり、長生きできるようにしてくれたりするんだってさ。その神様が描かれている絵が、白い髪<sup>かみ</sup>に白い髭<sup>ひげ</sup>。」

「そうか。じゃあ、ピワイチ隊にはもつこの神様だね。」とすずな。

「すごい。一太くん。ほんとになんでも知っているんだね。」と彌音。

一太はげますように言った。

「ラスト三キロー！」

斗馬たちも全員、「おっしやあ。」と気合いを入れた。

（ 横山充男『ピワイチ！ 自転車で琵琶湖一周』より ）

☆問題作成の都合上、本文を一部変更しています。

問一 ——線部①「うん。どうもありがどう。お姉さん。」「②」お姉さん、ほんとにありがどう。（と、斗馬はなでもういちどお礼を言った。「とありますが、一回目のお礼の内容と、二回目のお礼の内容を、本文中の言葉を使って、五十字以内で答えなさい。ただし、プチシートのごとくシートと省略して使いなさい。

【下書き】


問二 ——線部②「満足そうにうなずいた」とありますが、お姉さんはなぜ満足そうにうなずいたのですか。その理由として最も適当なものを次のア～エの中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 自分の経験したやり方を驚きをもって聞いてくれて楽しかったから。
- イ 自分の経験したやり方を素直に信じてくれてうれしかったから。
- ウ この方法でいくと、痛みがなく一周できることに安心したから。
- エ この方法でいくと、おしりを守ってくれてけがもないうことに同情したから。

問三

A に当てはまる言葉として最も適当なものを次のア～エの中から選んで、記号で答えなさい。

ア あがつてくる      イ ゆるくなる      ウ 今にも止まりそうになる      エ 高速になつてくる

問四

線部④「ように」と使い方が異なるものを次のア～エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 彼のように毎日勉強するのがよい。  
イ 紅葉のように真っ赤な手がかわいい。  
ウ 雨音のように同じリズムを刻む。  
エ 雪のように白くて美しい肌だ。

問五

線部⑤「琵琶湖の景色」とありますが、「景色」の表現として他と異なるものを次のア～エの中から一つ選んで、記号で答えなさい。

ア 道路に沿って桜並木がずっとつづく  
イ 短いトンネルをいくつかぬけると、さらに視界が広がった  
ウ 琵琶湖は青く、水も澄んでいた  
エ 岩に寄せる波は、気持ちのいい音を奏でていた

問六

B ①と同じ意味で使われている言葉を本文中から三字でぬき出しなさい。

問七

線部⑥「ピワイチ隊にはもってこいの神様だね」とありますが、そのように考えられるのはなぜですか。二十字以内で答えなさい。

問八

この本文中に登場してくる「一太」の人物像として最も適当なものを次のア～エの中から選んで、記号で答えなさい。

ア ちよつとしたことにも慎重な人物。  
イ 人の意見をよく聞き、飲み込みが早い人物。  
ウ いろいろなことに好奇心を持っている人物。  
エ どんなことにも頑張っている人物。

問九

この文章は何月の話ですか。文章全体をふまえて答えなさい。（算用数字でも漢数字でも構いません。）





番 号
得 点

						4				3		2				1									
ハ	七	二	一				七	六				五	四	一	四	三	二	一							
ウ	る	道	い	お	て	シ	2	1	な	く	に	人	ウ	2	1	I	A	①	⑫	⑪	⑧	E	A	④	①
九	た	に	こ	し	く	ー	宗	パ	す	の	任	工	地	非	エ	エ			音読み	音読み	ウ	現在	非(批)難	じふごす	はく
5(五)	め	ま	と	り	れ	ト	教	タ	人	新	せ	知	震	常	II	B	長崎				⑨				
月	。	よ	。	を	た	の	が	ー	。	し	て	能	や	に	カ	ウ	④		ばい	ぶん(もん)	エ	F	B	⑤	②
	わ	な	50	守	こ	は	果	ン		い	、	に	火	不	III	五					⑩				
	な	ア		っ	と	り	た	化	50	知	自	で	山	安	ウ	誤った漢字	広島		部首名	部首名	イ	貴重	評価	じふご	き
	い	五		て	と	方	す	し		恵	分	き	の	定	IV	頭									
	よ	エ		く	、	を	役	た		を	は	る	ふ	に	イ		二	かい	みみ		G	C	⑥	③	
	う	六		れ	実	て	割	情		蓄	勉	こ	ん	な	ニ	正しい漢字	②								
	に	思		て	際	い	の	報		積	強	と	火	っ	イ	統	ウ	五	⑬			今度	得	と	しよが
	導	わ		痛	に	ね	よ	操		し	を	は		た	三		③	エ					て	え	
	い	ず		み	シ	い	う	作		、	通	人			エ		イ						D	⑦	
	て			が	ー	に	な			使	し	工					三						似	せ	
	く			少	ト	教	こ			い	て	知													
	れ			な	が	え	と			こ	多	能													